

参 考 資 料

I	徳島県公共事業評価委員会開催状況	1
II	対象事業一覧表	
	平成21年度 対象事業	
	・ 農林水産部（再評価）	2
	経営体育成基盤整備事業	
	広域農道整備事業	
	基幹農道整備事業	
	林道開設事業（市町村事業）	
	・ 県土整備部（再評価）	5
	街路事業	
	公園事業	
	県営住宅建替事業	
	道路改築事業	
	広域河川改修事業	
	港湾改修事業	
	海岸保全施設整備事業	
	公共下水道事業（市町村事業）	
	街なみ環境整備事業（市町村事業）	
III	徳島県公共事業評価委員会名簿	6

I 徳島県公共事業評価委員会開催状況（平成21年度）

○日時：平成21年11月4日（水）10:00～16:45

出席委員：6名（村上会長, 上月委員, 松根委員, 眞山委員, 山中委員, 横畠委員）

内容

対象事業の概要説明等

農林水産部所管再評価対象事業：11件の審議

現地調査（農林水産部・県土整備部）

林道開設事業：高越二戸線（美馬市）

街路事業：都市計画道路 徳島東環状線（東環状大橋（仮称））（徳島市）

○日時：平成21年11月5日（木）10:00～12:00

出席委員：6名（村上会長, 上月委員, 松根委員, 眞山委員, 山中委員, 横畠委員）

内容

農林水産部所管再評価対象事業：1件の審議

県土整備部所管再評価対象事業：13件の審議

再評価対象事業一覧表（農業農村整備事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率 用地進捗率 (%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha	その他						
1	経営体育成基盤整備事業	長生西部	阿南市	962	53.4	区画整理 53.4ha	H12	10	②	事業費 79% 用地 1% —%	平成11年に起こった集中豪雨による付近住宅地の漏水被害を契機として、地元では幾野川改修工事等の排水対策工事の要望が高まったため、地元との協議により排水対策工事を優先して行い、本事業の着手はその後に着手することとなった。 その後、平成14年度から平成20年度の間に排水対策工事が進んだため、地元との協議により平成21年度からは塙整備工事に一部着手している。	継続
2	広域農道整備事業	吉野川中部2期	美馬郡つるぎ町	6,229	2,690.0	農道 9,400m	H7	15	⑤	事業費 98% 用地 74%	本地域では、農業従事者の高齢化と農業後継者の不足により営農状況は厳しくなってきた。このため、幹線農道を整備することにより、輸送体系の合理化による輸送労力の節減および営農労力の節減を図ることが重要になってくる。 農産物のネットワークを構築し、合理的な流通体系の確立を図り、更に、緊急時のライフラインとしても農村環境の改善を図る当該事業に対する地元の期待は強いものがある。	継続
3	基幹農道整備事業	伊勢田2期	海部郡海陽町	833	97.0	農道 600m	H12	10	②	事業費 22% 用地 100%	本地域では、山間部に点在する農地を利用しての野菜栽培やプロイラー（阿波尾鶏）の生産が盛んである。しかしながら、運搬道路の整備状況が悪く、生産物、生産資材の搬入搬出に多大な時間と労力を要している。 このため、幹線農道の新設により、農業経営の合理化を図ることが求められている。	継続

評価対象事項の区分
 ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
 ③事業採択前の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
 ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価対象事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	市町村名	基本総元			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率(%) 用地進捗率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	延床面積 ha	延長 m						
4	林道開設事業 (森林基幹道)	こうのたまがきせん 神野玉笠線	海陽町	2,052	522	8,330	H7	15	⑤	工事進捗率 58% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。 こうした状況下で、海陽町神野地区と檜ノ瀬地区を結ぶ当林道は、牟岐町の国道55号線に至る道路であることより、当該地域の路網の骨格として期待され地元からの要望は非常に強い。	継続
5	林道開設事業 (森林基幹道)	きりごまひらいせん 霧越平井線	海陽町	3,034	1,429	15,710	H6	16	⑤	工事進捗率 8% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。 こうした状況下で、那賀町霧越峠と海陽町平井地区を連絡するこの地域の骨格的林道として地元からの要望は非常に強い。 しかし、急峻な地形と残土処理場の適地不在から施工単価が高くなったことにより、進捗は鈍化し、現在も残土処理場の確保に目処がついていない。	休止
6	林道開設事業 (森林基幹道)	こぶつおとどせん 高越二戸線	美馬市	4,896	1,337	16,400	H6	16	⑤	工事進捗率 16% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について、林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正な管理を行う上で林道の担う役割は大きい。 また、旧穴吹町口山地区と旧木屋平村葛尾地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択前の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価対象事業一覧表（森林整備事業・市町村事業）

番号	事業名	路線名	市町村名	基本総元 （全体事業・利用区 域面積・延長等）			事業 採択	経過 年数	区分	工事費進 捗率（%） 用地進捗 率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針
				全体事業費 百万円	利用区 域面積 ha	延長 m						
1	林道開設事業 （森林管理道）	立川相生線 たつかわあいのせいのせん	勝浦町	760	146	3,300	H12	10	②	工事進 捗率 70 用地進 捗率 —	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。 こうした状況下で、高性能林業機械の導入、適正な施業や管理、効率的な林業経営を進めていくうえで、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
2	林道開設事業 （森林管理道）	五味線 ごみせん	神山町	388	131	4,951	H12	10	②	工事進 捗率 85 用地進 捗率 —	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。 こうした状況下で、高性能林業機械の導入、適正な施業や管理、効率的な林業経営を進めていくうえで、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
3	林道開設事業 （森林管理道）	中谷池ヶ谷線 なかにけがたにせん	海陽町	1,249	367	6,817	H7	15	⑤	工事進 捗率 65 用地進 捗率 —	本路線の計画ルートは、海陽町の中谷集落を縦断し路網の骨格となる森林基幹林道へと連絡することから、広大な森林の合理的な経営管理や公益的機能の維持増進整備及び災害時の迂回路としてのもにより、中谷集落の生活道としての効果も期待されている。 このことから、地元海陽町をはじめ森林所有者等においては、早期完成を強く要望している。	継続
4	林道開設事業 （森林管理道）	岩壁線 いわかべせん	美馬市	1,000	147	3,524	H7	15	⑤	工事進 捗率 61 用地進 捗率 —	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について、も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正な管理を行う上で林道の担う役割は大きい。 また、国道438号の上部を通過するため、災害等の緊急時には迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
5	林道開設事業 （森林管理道）	今丸線 いままるせん	美馬市	1,660	430	7,860	H7	15	⑤	工事進 捗率 89 用地進 捗率 —	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について、も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正な管理を行う上で林道の担う役割は大きい。 また、旧木屋平村と神山町を連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
6	林道開設事業 （森林管理道）	谷口ガク線 たにぐちがくせん	美馬市	1,025	230	3,856	H7	15	⑤	工事進 捗率 68 用地進 捗率 —	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。 こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択前の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

平成21年度再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基 本 諸 元 全体事業費C(百万円)等	事業採択 年度	経過 年数	進捗率(%) 事業費	区分	事業費 用地	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
1	街路事業	徳島県	(都) 徳島東環状線 末広・住吉区	徳島市	L=1,770m, W=14.0(18.25)m C=45,000百万円	H7	15	79	⑤	100	当路線は徳島外環状道路の東側の一部を形成し、国道11号、55号のバイパス的機能を併せ持つ。市内中心部の渋滞緩和に中心的役割を担う重要路線である。(都) 常三島沖洲線までの暫定供用、平成26年春季に(都) 元町沖洲線までの暫定供用、平成29年度に完成供用を目指している。	継続
2	街路事業	徳島県	(都) 徳島東環状線 東環状大橋(仮称)	徳島市	L=1,380m, W=14.0(25.5)m C=30,400百万円	H12	10	83	②	100	当路線は徳島外環状道路の東側の一部を形成し、国道11号、55号のバイパス的機能を併せ持つ。市内中心部の渋滞緩和に中心的役割を担う重要路線である。平成24年春季に供用を目指している。	継続
3	街路事業	徳島県	(都) 住吉万代園瀬橋線	徳島市	L=1,040m, W=13.0(25.0)m C=9,700百万円	H12	10	46	②	41	当路線は内環状道路の一部を形成し、国道11号からどき橋の渋滞緩和や自転車及び歩行者の交通安全対策等に大きな効果が見込まれる路線である。平成26年春季に万代園の陸上部、平成28年春季に福島側の陸上部の暫定供用、平成31年度に完成供用を目指している。	継続
4	公園事業	徳島県	南部健康運動公園	阿南市	A=70ha C=12,500百万円	H12	10	77	②	100	当公園は、これまでに野球場、管理棟及び遊具コーナーを含む多目的広場を供用している。平成21年度は、テニスコートを整備中であり、公園全体の完成は平成29年度を目指している。	継続
5	県営住宅建替事業	徳島県	名東(東)団地	徳島市	公営住宅建替 168戸 C=2,570百万円	H12	10	68	②	—	当該団地は、昭和40年に完成した住宅であり、老朽化が進行していることなどから早期建替が望まれている。平成25年度の事業完了を目指している。	継続
6	道路改築事業	徳島県	一般国道438号 (宮平バイパス)	つるぎ町	L=2,360m, W=6.5(12.0)m C=7,000百万円	H7	15	68	⑤	99	当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続するなど、交通の隘路となっており、当該事業により安全で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。平成25年度の完了を目指している。	継続
7	道路改築事業	徳島県	一般国道492号 (川井バイパス)	美馬市	L=1,250m, W=6.0(11.0)m C=3,400百万円	H12	10	69	②	80	当該工区では人家連担地を通過するなかで幅員狭小、線形不良区間が連続し、交通の隘路となっている。当該事業により安全で円滑な交通が確保される。平成24年度の完了を目指している。	継続
8	広域河川改修事業	徳島県	西大堀川 (川井バイパス)	徳島市	L=2,300m 河道拡幅 C=2,000百万円	H8	14	70	②	82	当河川は県内最大規模の内水河川である飯尾川の支流であり、H16年台風23号では甚大な浸水被害が発生した。西大堀川の支流である東大堀川と合わせて全体計画延長2.3kmの改修を行っており、現在までに下流650mが完成し、一定の被害軽減効果が発現されている。しかし、上流域は河道断面が狭いため、早期改修に対する地元からの要望が強い。平成30年度の完成を目指している。	継続
9	港湾改修事業	徳島県	徳島小松島港 沖洲地区	徳島市	物揚場(-2.0m)322m, 防波堤 (波除)140m, 泊地(-2m) 他 C=1,170百万円	H12	10	49	②	—	平成12年度より小型船舶係留施設の不足を解消するために整備を進めており、利用予定者からは早期の完成を望まれている。本事業地直上を通過する四国横断自動車道(新直轄区間・小松島〜徳島東間の新町川渡河橋梁)と工程等各種調整を図りながら整備する必要がある。平成26年度の完成を目指している。	継続
10	海岸保全施設整備事業	徳島県	浅川港海岸	海陽町	防波堤340m, 防波堤400m 胸壁(改良) 他 C=4,063百万円	H12	10	70	②	—	平成12年度より、浅川港海岸において防波堤等の整備を進めてきており、平成21年度からは、浅川地区において胸壁(改良)等の整備をすすめている。平成27年度の完了を目指している。	継続
S1	特定環境保全 公共下水道事業	吉野川市	吉野川市公共下水道事業 (川島処理区)	吉野川市	処理区域面積A=201ha 幹線管路延長L=5,920m C=8,878百万円	H12	10	33	②	100	吉野川市の特定環境保全公共下水道事業の川島処理区は、旧川島町により平成12年度に事業認可を受け、現行認可計画における整備率は約47%であり、今後も未普及地区解消のため整備促進を図る。なお、平成42年度の完成を目指している。	継続
S2	特定環境保全 公共下水道事業	つるぎ町	つるぎ町公共下水道事業 (貫光処理区)	つるぎ町	1 汚水 処理区域面積A=94ha 幹線管路延長L=980m 2 雨水 排水区域面積A=75ha C=6,312百万円	H12	10	58	②	100	つるぎ町の公共下水道事業は旧貫光町が事業主体となり平成12年度に事業認可を受け、現行認可区域における整備率は71%であり、住民の環境意識も高まり、管渠整備の要望もある。また、浸水対策におけるポンプ施設は計画3基のうち1基が完成しているが、大規模な集中豪雨では完全な内水排除はできず、早期の整備が必要とされる。なお、平成26年度の完成を目指している。	継続
S3	街なみ環境整備事業	つるぎ町	本町地区	つるぎ町	A=43,600㎡ C=400百万円	H12	10	34	②	0	当該事業により、平成12年度から伝統的建築物(うだつを有する家屋)26棟中14棟の修景を実施した。それに伴って住民組織による地域おこしグループが自発的に生まれてきて、この町並みを活用した各種地域おこしイベントの開催等により地域活性化に大きく貢献している。また、観光客も年々増加傾向である。平成26年度の事業完了を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑤の区分

- ① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所
- ③ 事業採択後の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所

- ④ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑤ 再評価後5年間を経過した事業（下水道は10年）
- ⑥ 事後評価対象

Ⅲ 徳島県公共事業評価委員会名簿

氏 名	職 名
井 関 佳 穂 理	公 認 会 計 士
上 月 康 則	徳 島 大 学 大 学 院 教 授
松 根 美 幸	建 築 家
眞 山 眞 理	四 国 大 学 生 活 科 学 部 教 授
○ 村 上 仁 士	徳 島 大 学 名 誉 教 授
山 中 英 生	徳 島 大 学 大 学 院 教 授
横 畠 康 吉	四 国 大 学 経 営 情 報 学 部 長

(○は会長、五十音順、敬称略)